



# 長特研だより

123号

発行 長崎県特別支援教育研究会  
事務局 長崎県立鶴南特別支援学校  
編集局 長崎県立鶴南特別支援学校  
発行日 令和5年6月14日

## 会長あいさつ

長崎県特別支援教育研究会会長  
長崎県立鶴南特別支援学校長  
分藤 賢之

本県の推計人口によると、令和5年4月1日現在の15歳未満人口は、前年に比べ4千人少ない15万5千人でした。年齢3歳階級別にみると、0～2歳が2万6千人、3～5歳が2万9千人、6～8歳（小学生の低学年）が3万2千人、9～11歳（小学生の高学年）が3万4千人、12～14歳（中学生）が3万5千人となっており、年齢階級が低くなるほど少なくなる傾向となっています。

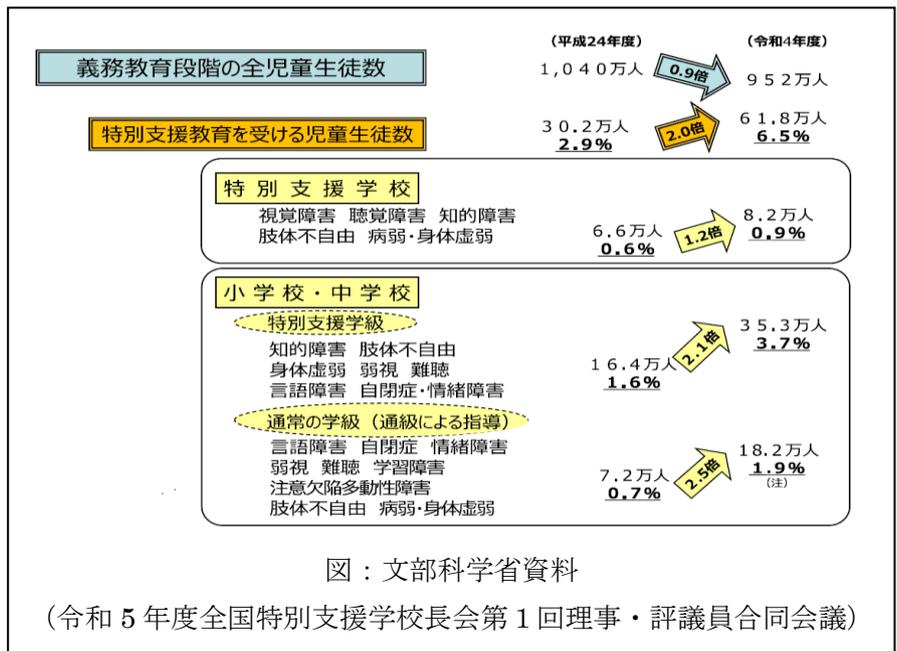
そのような状況のなか、国の最新調査によると、図のとおり令和4年度までの10年間における国内の義務教育段階の児童生徒数のうち特別支援教育を受ける児童生徒数は倍増しています。特に、特別支援学級の在籍者数（2.1倍）、通級による指導の利用者数（2.5倍）の増加が顕著となっています。もちろん、特別支援学校の在籍者数（1.2倍）も増加傾向にあるとともに、重複障害者の割合が増加傾向にあり、多様な障害の種類や状態等に応じた指導や支援が求められています。

また、文部科学省の「通常の学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に関する調査(令和4年)」によると、学習面又は行動面で著しい困難を示すとされた児童生徒数の割合が、平成24年に行った調査においては推定値6.5%でしたが、今回の調査では、小学校・中学校においては推定値8.8%、高等学校においては推定値2.2%と公表されました。

このように特別な教育的支援

が必要な児童生徒数が増加するなかで、特別支援教育の更なる推進が求められています。長特研としても推進のビジョンを掲げ、その理念を県下に広めるとともに、インクルーシブ教育システム構築の在り方を研究し、発信していく必要があると考えています。そこで、今年度の長特研では、次のビジョンを特に意識しながら実践交流を進めていきたいと考えております。

『障害のある児童生徒の自立と社会参加を見据え、一人一人の教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供できるよう、通常の学級、通級による指導、特別支援学級、特別支援学校といった、連続性のある多様な学びの場における各教科等の学習の充実を図る。また、多様な学びの場の間で教育課程が円滑に接続することによる学びの連続性の実現を図る。』



# 事務局からのお知らせ

## <長特研のホームページについて>

今年度、長崎県立希望ヶ丘高等特別支援学校から事務局を引き継ぎました長崎県立鶴南特別支援学校です。昨年度、長特研の専用ホームページが立ち上がり、会員の皆様への情報伝達がスムーズになったことと思います。今年度も加入案内、研究大会、九特連・全特連関係の案内、そして長特研だより等の情報発信を行って参りますので、御活用のほどよろしくお願いいたします。

# 令和5年度役員紹介

役職名	所属・職	氏名	所属・職	氏名
会長	鶴南特別支援学校長	分藤 賢之		
副会長	佐世保特別支援学校長	川副 秀夫	長崎市立長浦小学校長	椋本 博志
	長崎市立三和中学校長	赤塚 竜造		
理事	長崎市立長浦小学校長(次年度発表地区)	椋本 博志	長崎市立三和中学校(次年度発表地区)	赤塚 竜造
	佐世保特別支援学校教頭	前田 憲吾	鶴南特別支援学校時津分校教頭	宮尾 尚樹
	佐世保特別支援学校北松分校教頭	亀田 雅宏	鶴南特別支援学校五島分校教頭	中溝 浩二
	島原特別支援学校教頭	堀江 勇治	川棚特別支援学校教頭	福田 賢吾
	虹の原特別支援学校副校長	伊東 健史	希望が丘高等特別支援学校教頭	坂本 務
	虹の原特別支援学校壱岐分校教頭	佐々木 光洋	長崎大学教育学部附属特別支援学校教頭	伊藤 公裕
幹事	佐世保特別支援学校教諭	坂田 信吾●1	鶴南特別支援学校時津分校教諭	得永 美佐子
	佐世保特別支援学校北松分校教諭	大宮 幸	鶴南特別支援学校五島分校教諭	林 貴明
	島原特別支援学校教諭	井上 香菜美	川棚特別支援学校教諭	宮崎 竣伍●2
	虹の原特別支援学校教諭	山口 真司	希望が丘高等特別支援学校教諭	加未 梨恵
	虹の原特別支援学校壱岐分校教諭	山崎 翔矢	長崎大学教育学部附属特別支援学校主幹教諭	得永 剛
事務局長	鶴南特別支援学校副校長	松川 昇		
事務局員	鶴南特別支援学校主幹教諭	大串 尚央		

※ ●は会計監査を兼任する。(●1・・・次回事務局、●2・・・次々回事務局)

## 令和5年度の主な事業

長特研では、8月の研究大会、10月の秋季研修会ともに集合型で計画しております。また、12月の九特連福岡大会はオンライン開催、10月の全特連徳島大会は集合型となっています。

令和5年度 第34回 長崎県特別支援教育研究会 総会及び研究大会	期日:令和5年8月3日(木) 場所:諫早文化会館 講演:明星大学 教育学部 教授 明官 茂 先生 概要:集合型研修 ※詳細は HP 掲載
第62回 全日本特別支援教育研究連 盟全国大会「徳島大会」	期日:令和5年10月19日(木)・20日(金) 概要:集合型研修 ※詳細は HP 掲載
令和5年度 長崎県特別支援教育研究会 秋季研修会	期日:令和5年10月26日(木) 場所:たらみ図書館 海のホール 講師:長崎大学教育学部 高橋 甲介 准教授 ※詳細は後日 HP 掲載
第57回 九州地区特別支援教育連盟 研究大会「福岡大会」	期日:令和5年12月1日(金) 概要:ZOOM によるオンライン開催 ※詳細は HP 掲載